

質 問 書

2020年7月28日

「(案件名)ペルー国地下鉄耐震構造設計の国家基準整備及びリマ都市交通計画アドバイザー業務」

(公示日:2020年7月15日/公示番号:20a00268)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P14「プロポーザル評価配点表」 「語学力」	「語学能力の評価基準」について 6/19付(7/17更新版)の貴機構ホームページのお知らせにて、「取得後11年までのものを語学評価の対象として認めます。」と記載されていますが、2009年中に取得したものについては認められるという理解でよろしいでしょうか。	プロポーザル提出締切日を基準日として取得後11年以上経過した資格は語学評価の対象外とします。
3	P18~20 6. 業務の内容 (2), (5),(7),(9),(10)	助言及び講義資料については、西語が望ましいと考えられますので、当該資料の西語翻訳費用を、「(7)翻訳費用の計上」の定額計上額を増額し、ご指示いただけないでしょうか。	和文から西文への翻訳費用に鑑み、「(7)翻訳費用の計上」の定額計上額を80万円から160万円に増額いたします。
	P18~20 6. 業務の内容 (5),(7),(9),(10)	ワークショップに参加が想定される、ペルー側の関係者をご教示ください。	具体的な参加者はペルー側と協議のうえ決定されますが、過去ワークショップへの出席者は下記のとおりです。 ・MTC(ペルー国運輸通信省) ・ペルー側コンサルタント ・CISMID(ペルー国立工科大学 日本・ペルー地震防災センター) ・IGP(ペルー地球物理学研究所) ・AATE(リマとカヤオの大量電気輸送システム局)

以上